

令和 7 年 8 月 1 日

普通期稲作情報 第3号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

◎気象概況及び生育概況（アメダス宗像より）

7月1日～28日は、平均気温が平年に比べ2.4℃高く、降水量は平年比28%と少なく、日照時間は平年比179%ととても多い状況でした。現在、水稻の莖数は平年より多くなっています。

◎品種別出穂期の予想

★夢つくし	：8月 8日頃	（6月10日田植え・平坦地）
★元気つくし（つくしろまん）	：8月20日頃	（6月20日田植え・平坦地）
★ヒノヒカリ	：8月27日頃	（6月20日田植え・平坦地）
★ツクシホマレ	：8月31日頃	

1. 水管理（こまめな水管理で、台風・高温対策を！）

- （1）水稻の幼穂形成期～出穂・開花期にかけては、水を最も必要とする時期です。特に、出穂前後1週間は浅水管理とし、その後は間断かん水を行いましょ。う。
（今年は早い梅雨明けで、気温が高いうえに降水量が少なく、深いひび割れが生じる程の中干しになっているほ場が見られるので、湛水状況に注意しましょ。う。）
- （2）気象庁の1か月予報（7/26～8/25）では気温が高くなると予想されており、水稻の高温障害が懸念されます。登熟期間中は間断かん水を基本とし、配水が自由になるほ場では、かけ流し、昼間深水・夜間に水を入れ替えることで、水温・地温の上昇を抑制しましょ。う。
- （3）台風襲来時は、深水管理をして下さい。台風通過後も、水稻の水分吸収が盛んになるため、数日間は水を切らさないよう注意してください。

2. 病虫害防除

【斑点米カメムシ類】

斑点米カメムシ類の中でも近年増加傾向にある「イネカメムシ」の発生に注意してください。周囲より出穂が早いほ場では集中的に加害を受けると不稔穂が発生し収量に影響します。発生が多いほ場では、出穂期と、出穂期の14日後の2回防除を行いましょ。う。また、斑点米カメムシ類の耕種的防除法として畔草刈りを出穂2週間前までに実施してください。

※出穂直前に畔草刈りをすると、畦草に生息していたカメムシを本田へ追いやることになり逆効果となりますので、早めの畔草刈りを心掛けましょ。う。



クモヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ



イネカメムシ

【トビイロウンカ】

海外飛来性害虫のトビイロウンカの飛来日は6月16日、6月23日です。現在、発生量は平年より少ない状況です。今後のほ場内での発生に注意してください。

◎基幹防除【出穂期防除】

農薬登録状況：令和7年7月29日時点

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	散布量
粉剤	ダブルカットバリダ トレボン粉剤 3DL	いもち病、紋枯病、 ウンカ類、カメムシ類 コブノメイガ	穂揃期まで	3~4kg /10a
液剤	ダブルカットバリダ フロアブル	いもち病、紋枯病	穂揃期まで	1000倍
	エクシード フロアブル	ウンカ類、カメムシ類	収穫7日前まで	2000倍
粒剤	ゴウケツモンスター 粒剤	いもち病、紋枯病、 稲こうじ病、 カメムシ類、ウンカ類	出穂5日前まで (収穫45日前まで)	3kg/10a

◎補正防除

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	散布量
粉剤	スタークル粉剤DL	ウンカ類、 カメムシ類	収穫7日前まで	3kg/10a
液剤	スタークル液剤10			1000倍
豆粒剤	スタークル豆つぶ			250g/10a
粉剤	キラップ粉剤DL		収穫14日前まで	3~4kg/10a
液剤	キラップフロアブル			2000倍
粒剤	キラップ粒剤			3kg/10a

※イネカメムシの防除には、効果の高いスタークル剤やエクシードフロアブルを使用しましょう。但し、ミツバチへの影響を回避するため、開花期での防除では使用しないで下さい。

3. ツクシホマレ穂肥施用の目安（6月20日平坦地田植えを基準）

第1回目の穂肥	NK化成2号 20kg/10a	8月8日頃
第2回目の穂肥	NK化成2号 10kg/10a	第1回施用から7~10日後

※基肥でハイエムコート30を施用している場合は、穂肥は不要です。